

令和6年度前期授業評価・授業改善アンケート結果(HP用)

【生徒の評価】

評価	質問項目	1学年	2学年	3学年	全学年	昨年度 全学年
授業について	新しい単元に入る際に、単元計画の提示・説明は行われているか。	3.68	3.86	3.71	3.74	3.73
	「本時の目標」を設定され、目視できるように提示しているか。	3.76	3.86	3.69	3.76	3.69
	授業の内容に興味・関心がわくように、授業が行われているか。	3.66	3.82	3.63	3.69	3.73
	ICT活用を行い、効率的かつ効果的な授業展開が行われているか。	3.70	3.69	3.56	3.66	3.50
	『主体的・対話的で深い学び』に着目した授業展開が行われているか。	3.71	3.82	3.70	3.74	3.75
	「本時の振り返り」は行っているか。	3.49	3.51	3.43	3.49	3.47
	授業の内容は理解できているか。	3.65	3.67	3.62	3.64	3.70
	評価の方法や年間授業計画についての説明がされたか。	3.89	3.84	3.58	3.77	3.89

評価	質問項目	1学年	2学年	3学年	全学年	昨年度 全学年
自己評価	準備して授業に臨んでいるか。(時間厳守、忘れ物をしないなど)	3.58	3.62	3.67	3.62	3.65
	授業に集中して取り組んでいる。(私語、居眠り、スマホをさわる、タブレットで授業と関係のないことをしていないかなど)	3.54	3.77	3.67	3.66	3.68
	授業でわからないところがあったら、先生や友達に聞いたり調べたりして、理解しようと努力している。	3.85	3.69	3.72	3.75	3.72

【分析】

学校として推進している「授業改善実践項目」にあるとおりに、「単元計画の作成・提示」や「毎時間の目標設定」を意識した授業が展開されていること、また、『主体的・対話的で深い学び』に着目して授業が展開されていることが分かる。

一方で、生徒は「興味・関心がわく授業」と感じているが、教員は発問に課題を感じていることがわかる。

また、教員の自己評価からは「教科横断的授業・探究的視点」に着目した授業について最も課題を感じている。今回、教科横断的・探究的視点の授業に関する記述欄を設けたことから、より意識が高まったこともこの数値の低さに表れている。今後、学校としての授業実践しやすい環境作りや情報交換、必要に応じて校内研修等を行う必要がある。その他の項目においても、総じて生徒の評価よりも低い数値を示しており、教員が授業改善の意識をしっかりと持っていることがわかる。

【教員の評価】

評価	質問項目	平均値	昨年度 平均値
教員自己評価	新しい単元に入る際に、単元計画の提示・説明を行っているか。	3.50	3.20
	生徒の資質能力の育成に観点をおいた「本時の目標」を設定し、生徒が目視できるように提示しているか。	3.20	3.20
	授業の内容に興味・関心がわくように、授業が行われているか。	3.00	2.90
	ICT活用を行い、効率的かつ効果的な授業展開が行うことができているか。	3.50	3.00
	生徒の『主体的・対話的で深い学び』に着目した授業展開が行われているか。	3.00	2.70
	授業の内容が理解できているかなど、「本時の振り返り」は行っているか。	3.20	2.90
	(前期)評価の方法や年間授業計画についての説明を行なったか。	3.80	3.50
	『教科横断的視点』や『探究的視点』に着目した授業展開を行えているか。	2.50	2.30
	自身の教科について、外部の研修会に参加するなど授業方法についての情報収集を行なっているか。	3.50	3.30